

11. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連  (沖縄)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	コンビニ（経営者）	来客数の動き	・来客数が前年を上回っている。
		観光型ホテル（マーケティング担当）	販売量の動き	・稼働率において前年同月実績を上回っており、3か月前と比べ好調に推移している。
		ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・1月あたりから、毎月の来客数が前年同月を全部上回ってきている。なかなか堅調に推移している。
	変わらない	百貨店（店舗企画）	販売量の動き	・店舗全体の売上では前年を越えたが、カテゴリー別では衣料品が前年を割った。化粧品は免税売上が引き続き好調である。しかし、免税売上を除くと店舗では前年割れとなる。売上構成比の高い衣料品が浮上してこない限り、厳しさが増してくる。
		スーパー（販売企画担当）	単価の動き	・今月も1品単価のアップは続いている。また客1人当たりの点数も少しアップしている。
		コンビニ（エリア担当）	単価の動き	・ブランド転換による閉鎖や商品縮小等の要因で客数の減少はあるが、客単価はこの数か月、前年越えである。今後も続くと思われる。
		旅行代理店（マネージャー）	販売量の動き	・選挙続きで会社出張などが停滞気味である。夏休みの個人旅行も出足が鈍い。
		その他のサービス[レンタカー]（営業担当）	来客数の動き	・旅行代理店からの送客は前年同期と比較して大分悪かったが、インターネット経由での予約が好調で何とか前年水準まで行けた。利用者の予約経路が変わってきたように見受けられる。
		住宅販売会社（代表取締役）	販売量の動き	・当社は設計、施工を中心に工事を行っており受注状況も良好である。さらに最近では他社設計からの建築見積依頼なども多い。
		住宅販売会社（営業担当）	お客様の様子	・日本銀行のマイナス金利政策を受け、各銀行の住宅ローン金利が最低を更新中で、また金利が下がるとの考えから住宅建築決定の先延ばし感がある。
	やや悪く なっている	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・当方の商売に限っては少し悪くなっている。地元客は安定しているが、最近目抜き通りなどから流れて来る観光客は中国人を主として外国人が多いからである。中国人はアロハシャツなどにあまり興味が無い様子である。ヨーロッパからの観光客や、アジアからでも台湾人、韓国人は購入してくれる。日本本土からの客は買い控えしている印象を受ける。
		その他専門店[楽器]（経営者）	来客数の動き	・客からの問い合わせが減少している。昔からのお得意様の顧客からの注文は増えてきたが、将来的に現状は厳しくなっている。販売商品の売り方を含めて商売の転機を模索検討している。
		その他飲食[居酒屋]（経営者）	競争相手の様子	・周りでは居酒屋が2店舗閉店して、3店舗開店するという状況で、短期間で入れ替わりが激しくなっている。とくに、20坪未満の専門店が増えてきており、本土からの出店も増えてますます競争激化している上に、採用がとれなくなって人件費も上がり続けている。
通信会社（店長）		販売量の動き	・4～5月で落ち込んだ来客数は持ち直してきているが、購入目的の客が少なく、代わりに相談や故障の受付が多く販売数は落ち込んでいる。	
悪く なっている	商店街（代表者）	競争相手の様子	・大型店の一部では売上も良くなっているようであるが、商店街の小売零細企業においては、大型店とは単価の点でも太刀打ちできなくなっており、売上も下がっている。毎月売上等は落ちている感がある。	
企業 動向 関連  (沖縄)	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	-	-	-
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・公共工事向けは、前年比でやや増。民間工事向けは前年比で減で、全体では前年比減となった。
輸送業（営業）		受注量や販売量の動き	・量販店、外食店舗向け取扱物量が増えているが、店舗増や新規出店が要因であり、県内需要が大幅に増えているわけではないと考えられるため、一時的なものとみられる。	

		会計事務所（所長）	取引先の様子	・英国のEU離脱問題が、為替市場の動向から観光産業に影響すると考えられるが、まだ不透明な状況である。
	やや悪くなっている	建設業（経営者）	受注量や販売量の動き	・先月、及び先々月よりはやや良いが、3か月前に比べては契約金額が低い。
	悪くなっている	-	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-	-
(沖縄)	やや良くなっている			
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・新年度に入り、派遣依頼が増加すると予測していたが、なかなか伸び悩み、最近ようやく動きが出てきた。だが、新規依頼というより、従来の派遣先の人数増加での依頼が多い。
		人材派遣会社（総務担当）	求職者数の動き	・6月の県議選に続き、7月の参議院議員選挙に関連する短期の仕事は受注するも、例年に無く求職者の動きが弱い。人集めに苦戦している。依然として、新規の長期派遣登録者の減少は続いている。
	やや悪くなっている	求人情報誌制作会社（編集室）	求人数の動き	・求人件数は週平均で200件弱減っている。
		学校〔専門学校〕（就職担当）	採用者数の動き	・人材不足と言われている割に採用情報に活気が見えない。企業が周辺企業の様子を伺っている感がある。
	悪くなっている	-	-	-